

第 330 回 RIST 月例フォーラム報告 (熊志会と若手研究者交流会)

平成 30 年 7 月に熊本県工業連合会熊志会とくまもと技術革新・融合研究会合同で、若手経営者および研究者の交流会を実施しましたので報告します。

- 1 目的：熊本県内企業の若手経営者と熊本県内の大学・高専および産業技術センターの若手研究者の交流を深め、今後の産学官連携のきっかけを作り、今後の産学官連携を促進させることを目的として開催する。
- 2 日時：平成 30 年 7 月 19 日 (木) 15:00~18:00
- 3 場所：SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto (熊本県熊本市北区飛田 3-5-8)
- 4 参加者：42 名 (産 22 名、学 4 名、官 16 名)
- 5 内容：第 1 部 IoT、AI 関連の取組み紹介 15:05~16:30
株式会社ナレッジコミュニケーション奥沢氏、株式会社ワイズ・リーディング古田氏より講演
第 2 部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション 16:35~17:20
有明技研株式会社大曲氏、株式会社富坂建設富田氏、株式会社オジックテクノロジーズ金森氏より話題提供、会場も交えた課題解決ディスカッション
第 3 部 情報交換会 17:20~17:55
SOCKET 内にて SOCKET の見学、意見交換
- 6 概要：RIST 会員企業である株式会社ワイズ・リーディングが運営する医療・ヘルスケアの IoT、AI を中心とするラボ「SOCKET IoT/AI Lab Kumamoto」にて、熊本県工業連合会熊志会との交流を行った。これまで医療・ヘルスケア分野で IoT、AI 技術を中心に活躍された方々の知識、技術、ノウハウを、ものづくり現場の課題解決に活かすため、それぞれの立場での講演、課題発表を行った後、SOCKET 内にて自由な意見交換を行った。会全体をとおして、課題解決のヒントとなりうる IoT、AI 技術の活用アイデア等、活発な議論が行われた。



熊志会と若手研究者交流会の詳細

- 1 目的 熊本県内企業の若手経営者と熊本県内の大学・高専および産業技術センターの若手研究者の交流を深め、今後の産学官連携のきっかけを作り、今後の産学官連携を促進させることを目的として開催します。
今回は株式会社ワイズ・リーディングが運営する医療・ヘルスケアの IoT、AI を中心とするラボ「SOCKET IoMT/AI Lab Kumamoto」にて、IoMT、AI 技術を利用して、県内ものづくり企業の課題解決につなげることを目的としています。
- 2 日時 平成30年7月19日（木） 15:00～18:00
- 3 場所 SOCKET IoMT/AI Lab Kumamoto（熊本県熊本市北区飛田3-5-8）
- 4 主催 熊本県工業連合会、くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、熊本県産業技術センター、くまもと産業支援財団
- 5 幹事 熊志会 オオクマ電子株式会社 代表取締役社長 大隈恵治
熊本大学 工学部 情報電気電子工学科 准教授 伊賀崎伴彦
熊本県産業技術センター 技術交流企画室 研究主任 黒田修平
- 6 参加者 42名
産（熊本県工業連合会熊志会、RIST 会員企業） 22名
学（熊本県内大学・高専 研究者） 4名
官（県、市、財団関係者） 16名
- 7 次第
開会 熊本大学 末吉教授（RIST 会長）
第1部 IoMT、AI 関連の取組み紹介（講演） 15:05～16:30
（司会：株式会社ワイズ・リーディング 永木専務）
 - ・「近未来都市 深セン視察報告～今、中国で何が起きているのか～」
株式会社ナレッジコミュニケーション 代表取締役CEO 奥沢 明 氏
 - ・「製造業必見！AI を活用した出荷検品業務の効率化の取組み事例」
株式会社ワイズ・リーディング 事業開発本部上席研究員 古田 貴彦 氏第2部 ものづくり企業の課題解決ディスカッション 16:35～17:20
（司会：オオクマ電子株式会社 大隈社長）
 - ・有明技研株式会社 大曲 孝彦 氏
 - ・株式会社富坂建設 富田 由衣 氏
 - ・株式会社オジックテクノロジーズ 金森 元気 氏より、ものづくり企業の現在抱える課題について話題提供、会場も交えた課題解決ディスカッション
- 第3部 情報交換会 17:20～17:55
SOCKET 内にて SOCKET の見学、意見交換
- 閉会 オオクマ電子株式会社 大隈社長（熊本県工業連合会熊志会会長）